

# 中学校 第2学年 国語科学習指導案

平成27年6月9日火曜日 第2校時  
2年  
指導者

## 1 題材名 「聞き取って吟味しよう」

## 2 題材について

### (1) 題材観・キャリア観（キャリア教育の視点に関わる部分にアンダーライン）

話をしっかり聞くことは、学習や生活から切り離せない大切なことである。また、耳から入る膨大な情報を必要なものかどうかを吟味し、判断する力を身につけることは、現代の情報社会において必要不可欠な力といえる。日常の聞く活動の積み重ねによって、自然に聞く力が身に付いている生徒もいるが、聞き逃してしまったり、真意を考えずその場の言葉に対する判断で浅い理解で終わってしまったりする生徒がいることも実態としてある。

本学習材では考えや根拠を吟味することを通して、問題意識をもって相手の話を聞き、自分の考えと比較することを学ぶ。根拠を示すことで、自分の考えに説得力が増すことや、相手の考えについて質問や反論をする際、根拠を的確に捉えることがとても重要である。相手の話を聞くときには正確に聞きとるだけでなく、「本当にそうだろうか。」という疑問や、「自分の考えとは違う。」など、吟味しながら聞くことの大切さを学ばせたい。

日常生活の中で、情報を鵜呑みにするのではなく、事実を見極め選択する力に繋がる大切な学習と考える。

### (2) 生徒観

26年度の高知県学力定着状況調査の分析によれば、現2年生の記述式正答率は34.1%であった。また、27年度4月当初の授業評価アンケートでは、「国語の勉強は好きか。」18%、「国語の授業内容はよくわかる。」53%、「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。」39%という結果であった。この結果より、国語に対して苦手意識があり、あまり意欲的に学習できていない実態がみられる。

本学級の生徒は、明るく前向きに取り組もうとするが、人前で積極的に発表することや自分の言葉で表現することが苦手な生徒が多い。あきらめやすく、学習支援の必要な生徒もいるが、やるべきことがはっきりとした活動には参加することができる。深く思考することが苦手な生徒が多い。普段の学校生活でも、自分の思いを優先してしまい、相手の考えや思いを受け止めることができず、短絡的な思考で終わってしまう場面もみられる。

この学習材を通して、言葉の表面だけを捉え判断するのではなく、問題意識を持って話を聞くことの大切さに気づき、話の本質を聞き分け、それに対して自分の考えを確かめたり広げたりすることのできる生徒を育成したいと考えている。

### (3) 指導観

本学習材は「吟味して聞く力の具体例は①「事実と考えを聞き分ける力」②「考えと根拠を吟味する力」③「複数の発言を比べて、自分の考えを述べる力」の3つのステップで構成されている。教科書の例文を中心に、1時間に1つの力を確実に学習し、「事実」「考え」「根拠」等の言葉の意味をしっかりと捉えさせ、吟味する（思考する）トレーニングをする機会としたい。また、班での話し合い活動を取り入れ、他者の考えを聞くことで自分の考えを広げる活動につなげ、協力して学ぶ楽しさを感じさせたい。その際、個人で思考する時間を確保し、一人ひとりが学習に参加できるように配慮していきたい。

27年度の全国学テで本校3年生の無回答が多かったB問題2の「複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書く」ことの基本の学習になるよう指導していきたい。

### 3 題材の指導目標

#### ○ 教科の指導目標

- ・問題意識を持って話を聞き、自分の考えと比較することができる。  
(話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較する。A (1) エに対応)

#### 言語活動言語活動例 A(2)ア

- ・調べてわかったことや考えたことなどに基づいて説明や発表をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。

#### ○ キャリア教育視点での目標

- ・友だちなど他者の意見を聞く時、自分の考えと比べながら聞き、自分の考えを持つことができる。  
【 人間関係・社会形成 】
- ・吟味して聞き、質問や反論を考えることができる。  
【 課題対応能力 】

### 4 題材の評価規準

| 国語への関心・意欲・態度                     | 話す・聞く 能力                                     | 言語についての知識・理解・技能                                          |
|----------------------------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| ◎学習活動の見通しを持ち、問題意識を持って話を聞こうとしている。 | ◎問題意識を持って話を聞き、自分の考えと比較しようとしている。<br>【A (1) エ】 | ◎文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて話したり聞いたりしている。<br>【伝・国 A (1) ウ】 |

### 5 指導と評価の計画 (全4時間)

| 時       | 主な学習活動                                                | 国語への関心・意欲・態度                        | 話す・聞く 能力                                     | 言語についての知識・理解・技能                                      |
|---------|-------------------------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| 1       | ・「事実と考えとを聞き分ける」に取り組む、事実と考えるについて考える。                   | ・学習活動の見通しを持ち、問題意識を持って相手の話を聞こうとしている。 | ・問題意識を持って話を聞き、自分の考えと比較しようとしている。<br>(A (1) エ) |                                                      |
| 2<br>本時 | ・「考えと根拠を吟味する」に取り組む、質問や反論を考える。                         | ・学習活動の見通しを持ち、問題意識を持って相手の話を聞こうとしている。 | ・問題意識を持って話を聞き、自分の考えと比較しようとしている。<br>(A (1) エ) |                                                      |
| 3<br>4  | ・「複数の発言を聞いて、自分の考えを述べる」に取り組む自分の立場をはっきりさせ、考えをまとめ意見交換する。 |                                     | ・問題意識を持って話を聞き、自分の考えと比較しようとしている。<br>(A (1) エ) | ・文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて話したり聞いたりしている。<br>(A (1) ウ) |

## 6 本時の指導 ( 2 / 4 )

### (1) 目標・評価規準・評価方法

|         |                                                                            |
|---------|----------------------------------------------------------------------------|
| 本時の目標   | ○考えと根拠に分けて聞き、質問や反論を考えることができる。【A (1) エ】<br>☆吟味して聞き、質問や反論を考えることができる。【課題対応能力】 |
| 本時の評価規準 | ◎問題意識を持って話を聞き、自分の考えと比較している。<br>○学習活動の見通しを持ち、問題意識を持って話を聞こうとしている。            |
| 評価方法    | ワークシート・発言・観察                                                               |

### (2) 展開

|                     | 学 習 活 動                                                                                                   | 指導上の留意点<br>○…教科の留意事項<br>☆…キャリア教育視点での留意事項                                                                                                                                                                                                                                                                    | 評価規準・(評価方法)                                                                                      |
|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導<br>入<br>(5分)      | 1 「事実」と「考え」の違いをペアで確認し、問題を出し合う。<br>2 本時の学習内容をつかむ。                                                          | ○ 「事実」とは確実に、全員が認めること。「考え」とは他の可能性のあること、必ずしも全員が認めることではないことであることを確認させる。                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                  |
|                     | 考えと根拠を吟味し、質問や反論を考えよう。                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                  |
| 展<br>開<br>(40分)     | 3 教科書の例文(1)を聞き、「考え」と「根拠」にあたる部分を指摘する。<br><br>4 ワークシートの書き方を確認し、教科書の例文(2)に取り組む。<br><br>5 メモを基に、個人で質問や反論を考える。 | ○「根拠」とはその考えのよりどころとなること。そう考えた理由にあたることを確認させる。<br>○「ほんとうにそうだろうか」、「なぜそう言えるのか」と考えながら聞き取らせる。<br>・ワークシートの書き方を理解させる。<br>・メモは短い言葉で書かせる。<br><br>○「考え」と「根拠」を考える。<br><br>○☆考えと根拠に分けて聞き、吟味し、質問や反論を考えることができる。<br>・吟味する際考えること。<br>・根拠は正しいか。 ・説得力はあるか。<br>・考えは思い込みではないか。<br>・誰が聞いてもそう言えるか。<br>(Cの生徒への手立て)<br>吟味すべき表現に着目させる。 | ・学習活動の見通しを持ち、問題意識を持って話を聞こうとしている。<br>(観察・発言)<br><br>・問題意識を持って話を聞き、自分の考えと比較している。<br>(ワークシート・発言・観察) |
| ま<br>と<br>め<br>(5分) | 6 個人で考えた質問や反論を班で発表しあい、ワークシートを仕上げる。<br><br>7 本時のまとめと次時の内容を確認する。                                            | ☆はっきりと話すことを意識させる。<br>○自分の考えと比べながら聞くことを意識させる。<br><br>・振り返りシートを書かせる。                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                  |